

ボッシュ、ミラノの「EICMA 2023」における ハイライト：パワートレインからネットワーク化まで 二輪車向けコンポーネントおよびシステムソリューション

2023年10月26日
PI11729 BBM jck/Bär

- ▶ **ライダー アシスタンス**：ボッシュは新世代のレーダーセンサーとモーターサイクル用スタビリティコントロール（MSC）により、全セグメントの二輪車の安全性を向上
- ▶ **ネットワーク化**：ボッシュのディスプレイソリューションとインフォテインメントシステムにより、走行中も必要な情報を把握することが可能に
- ▶ **eモビリティ**：ボッシュの最新テクノロジーが未来への道を切り拓く

ミラノ（イタリア） – 二輪車は、路上でこの上ない解放感を味わうのに適しており、情熱、ダイナミクス、スピードの組み合わせである二輪車には、安全性、利便性、効率性を実現する、あらゆる革新的ソリューションが必要です。ボッシュは EICMA 2023 において、現在と未来の二輪車のための個別のソリューションだけでなく、包括的なシステムについても紹介します。ボッシュはライダーがライダーのために開発したエンジンコンポーネントと電動パワートレイン、アシスタンスシステム、ディスプレイ、そしてネットワーク化ソリューションを軸に、ホール 18/B54 のブースに出展します。

デジタル：革新的なディスプレイソリューションにより、コネクテッドなライディング経験を実現

ボッシュはあらゆるアプリケーションに対応するディスプレイソリューションを提供しており、ライダーは走行中、周囲の状況に気を取られることなく、速度やその他の車両情報に目を配ることができます。ボッシュは EICMA において、ライダーが必要な情報をすべてひと目で確認できる **TFT クラスタ5 インチ**を展示します。この5インチのディスプレイは、より限られたスペースへの搭載が可能で、さまざまな車両セグメントに対応します。多様なサイズでの提供が可能なボッシュの **インテグレートッド コネクティビティ クラスタ**

(ICC) は、TFT クラスタにネットワーク化機能を追加したものです。従来、二輪車ライダーは、前方を見ながらナビゲーション機能を使用する場合に、別のマウントを使用して2台目のディスプレイを車両に取り付ける形で対応するケースが多くありました。ボッシュはこの問題を解決します。スマート

フォンを ICC に接続すると、ライダーはナビゲーション、音楽再生、電話などの機能にアクセスできるようになります。また、約 10 インチのバージョンは分割画面表示も可能で、例えば車両情報とナビゲーションコンテンツを同時に表示することもできます。

アシスタンス : ボッシュと共に交通事故のないライディングへ

ボッシュは二輪車向けアシスタンスシステムの世界的なリーディングサプライヤーであり、すでにモーターサイクル用 ABS と **モーターサイクル用スタビリティコントロール (MSC)** によって、二輪車のライディングの安全性を大きく高めています。現在、ボッシュは MSC の開発において次の段階に進んでいます。ボッシュの事故調査の試算によると、MSC がすべての二輪車に装備されれば、ドイツ国内だけでも人身事故を伴う二輪車事故の 5% を防止または低減できるとされています。この目標を念頭に、ボッシュは現在、より小型の車両セグメントにもモーターサイクル用スタビリティコントロールを提供しています。これまで、さらなる安全性や利便性の向上をもたらす各種付加価値機能を提供する MSC ソリューションは、中型から大型の二輪車に採用される傾向がありました。6 軸の慣性計測センサーユニット (IMU) を用い、傾斜角などのパラメーターを検知することにより、MSC 機能を実現します。将来的に、小型二輪車向けの MSC ソリューションとして、更にコンパクトな ABS ユニットのベースに、6 軸 IMU だけでなく、エントリーモデル向けのコストパフォーマンスの優れたソリューションとして 3 軸 IMU と組み合わせられるようになります。

MSC、ABS、および IMU が搭載された二輪車では、ハードウェアを追加することなく、新たな付加価値機能やアプリケーションを導入することができます。たとえば、大型ツーリング二輪車向けのヒル ホールド コントロール機能やオフロード ABS、また一般走行向けやレーストラック向けなど、二輪車モデルの用途に応じて調整した、コーナーリング対応の連動ブレーキシステムを提供することが可能です。これらの機能により、安全性、利便性、そしてライディングの楽しさが向上します。ボッシュは個別の車両モデルに合わせてきめ細やかな調整ができるというアプリケーション面での強みも有しており、早い段階からシステムに関する幅広い知見を活用し、これらの二輪車向け付加価値機能の包括的なポートフォリオを提供しています。

ボッシュのレーダーベースの二輪車向けアシスタンスシステムは、二輪車の安全性の向上にも貢献します。ボッシュの事故調査によると、レーダーベースのアシスタンスシステムを装備すれば、二輪車事故の 7 分の 1 を防ぐことができます。電子制御によるアシスタンスシステムは常に周囲の状況をモニターしており、緊急時には人間よりも速く反応するためです。これらのシステムと機能はサラウンドセンサーをベースとしており、ボッシュの新しい **二輪車向けレーダー** により、さらに改善されます。最新世代のレーダーは、検知範囲が 210 メートルと従来モデルよりも最大で 50 メートル伸び、また視野角は前世代と比較してさらに 15 度拡大し、物体検知の精度が向上しています。このセンサーを

活用することで、さらに優れた二輪車向けアシスタンスシステム機能の提供が可能となることが期待されます。

エミッションの削減：ポッシュは最新のパワートレインテクノロジーを活用

ポッシュは二輪車メーカーのエミッション削減に貢献するために、高効率のドライブソリューションの開発に取り組んでいます。ポッシュは EICMA 2023 にて、**次世代の電動インハブモーター**を展示します。ステーターとローターの設計を最適化することで、性能を損なうことなく、最大 2kg の軽量化を達成しました。

ポッシュのドライブコントロールユニットは、インバーター、エンジン制御システムおよび車両制御システムを 1 つのコンパクトなコンポーネントに統合しています。ドライブコントロールユニットをインハブモーターと組み合わせることで、よりスムーズな発進モードである「スムーズライディング」や、速度を維持する「クルーズコントロール」などの快適機能を提供できます。「電動トラクションコントロール」は、発進時における後輪のスリップを電動モーターによって防ぎ、ライディングの安全性を高めます。「ワン スロットル ライド」は、ライダーがスロットルを絞ったときにブレーキングのためのエネルギーを回生できるようにすることで、パワートレインの効率を高める付加価値機能です。これにより、バッテリー駆動の航続距離を最大 8% 伸ばすことができます。ポッシュは電動モーター向けドライブコントロールユニットのほか、電動パワートレインの基本機能に加えてさらなる機能を実装できる**ビークルコントローラー**も EICMA で展示します。たとえば、水冷用のポンプ制御に加えて、CCS-AC や二輪車向け CHAdeMO など、さまざまな充電規格に対応します。110 を超えるコネクタピンを備えたポッシュのビークルコントローラーは、さまざまな車両アーキテクチャと組み合わせることができ、電動二輪車における既存の要件だけでなく、将来の要件にも対応します。

一方で、ポッシュは現在の内燃機関技術のさらなる高効率化や持続可能性の向上にも取り組んでいます。ポッシュは、OBDII、Step 1 および Step 2 を含む、Euro 5 やインドの BS 6（バラートステージ 6）などの将来適用が予定されている排出ガス規制にメーカーが対応できるよう、二輪車やパワースポーツ車両向けの**エンジン制御システム**やコンポーネントを提供しています。最新のセンサー技術と組み合わせることで、エンジン制御システムは今もなお新興成長市場で広く使用されている従来のキャブレターと比較して大幅な高効率化を実現することができます。インジェクターやセンサー、コントローラーなどのポッシュのエンジンコンポーネントは、二輪車セクターにおいても E100 までのガソリン混合比に対応することができます。さまざまな走行モードやクイックシフトソリューションなどの追加機能は、小型車両セグメントでもエンジンコントロールユニットを介して迅速かつ簡単に実装することができます。

報道関係対応窓口：

Jennifer Kallweit

電話: +49 711 811 42239

Twitter: @JCKallweit

ポッシュ記者会見：

【日時】2023年11月7日(火) 14:30 - 14:45 (中央ヨーロッパ標準時)

【場所】ポッシュブース：ホール18 / B54

【登壇者】ポッシュ モーターサイクル&パワースポーツ事業部長 ジェフ・リアッシュ
※[ポッシュ メディアサービス](#)にてライブ配信予定

モビリティは、ポッシュ・グループ最大の事業セクターです。2022年の売上高は526億ユーロで、グループ総売上高の60%を占めています。モビリティの売上により、ポッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティ事業セクターは、安全でサステイナブルかつ魅力的なモビリティを目指し、お客様にモビリティのためのトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー/パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバー アシスタンス システム/自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントや Vehicle-to-Vehicle (車車間) および Vehicle-to-Infrastructure (路車間) 通信、オートモーティブアフターマーケット向けのリペアショップコンセプト/テクノロジー/サービスなどです。さらにポッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置 ESC (エレクトロニック スタビリティ コントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

世界のポッシュ・グループ概要

ポッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2022年の従業員数は約42.1万人(2022年12月31日現在)、売上高は882億ユーロ(約12.2兆円*)を計上しています。現在、事業はモビリティ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ポッシュはIoTテクノロジーのリーディングプロバイダーとして、スマートホーム、インダストリー4.0さらにコネクテッドモビリティに関する革新的なソリューションを提供しています。ポッシュは、安全かつ魅力的なモビリティを追求しています。ポッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ポッシュ・グループは、AI(人工知能)を搭載する、もしくはAIが開発・製造に関わった製品を提供することで、コネクテッドライフを円滑にすることを戦略目標に掲げています。ポッシュは、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ポッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」-人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ポッシュ・グループは、ロバート・ポッシュ GmbHとその子会社470社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ポッシュは2020年第一四半期に、世界400超の拠点でカーボンニュートラルを達成しています。ポッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界136の拠点で約8万5,500人の従業員が研究開発に、そのうち約4.4万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

*2022年の為替平均レート、1ユーロ = 137.9900円で計算

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ポッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ポッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ポッシュ・メディア公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ポッシュ・ジャパン公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ポッシュ・ジャパン公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ポッシュ・ジャパン公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ポッシュ・ジャパン公式YouTube (日本語)